

一級河川鳴瀬川水系 南川 南川ダムの効果(令和4年6月6~7日)【速報】

宮城県

○南川ダムでは、令和4年6月6日から令和4年6月7日に、低気圧に伴う大雨により、**流域平均の累計雨量が125mm,最大時間雨量では14mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画460m³/sに対し、**29.62m³/sを記録しました。**

○今回の洪水調節により**最大流入時の96.3%(28.51m³/s)を貯留し、**下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



南川ダムの洪水調節実績

・洪水調節 開始	6日 23時 0分	終了	7日 9時 30分
・ダム流域累計雨量	125 mm	(6日 10時 ~ 7日 11時)
・最大時間雨量	14 mm	(6日 21時 ~ 6日 22時)
・ダムへの最大流入量	29.62 m ³ /s	(7日 1時 50分)
・最大流入時の放流量	1.11 m ³ /s	(51位/84洪水)
・ダムによる最大調節量	28.51 m ³ /s	(約 96.3 %)

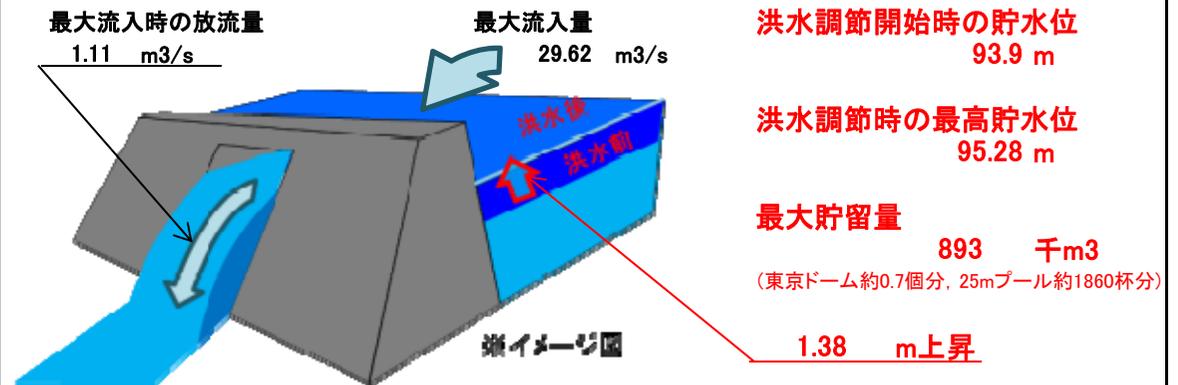
ダムの状況写真



貯水位 EL 95.34m
洪水後 (6月7日10時20分)

南川ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の **96.3%** をダムに貯留しました。



○南川ダムの洪水調節等により、吉田川の落合地点で、**水位を約0.59m低減させる効果**があったものと推測されます。

下流河川の状況写真

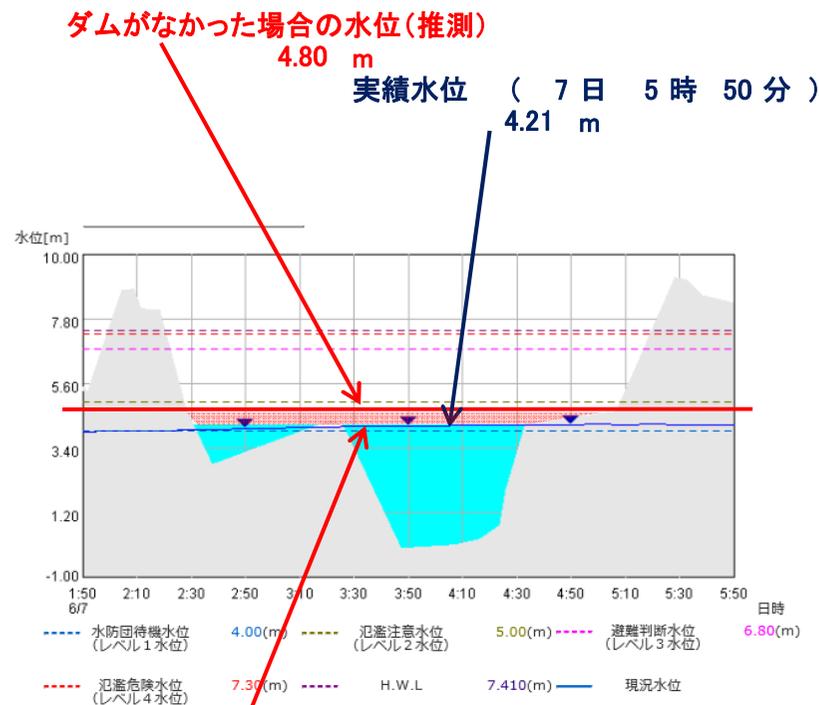


吉田川(魚板橋上流)(洪水後6月7日10時30分)
近接水位観測所水位(八合田水位観測所)



吉田川(魚板橋上流)(洪水後6月7日10時30分)
近接水位観測所水位(八合田水位観測所)

吉田川(落合地点)の水位低減効果



**ダムにより約0.59mの
水位低減効果を推測**